

平成24年2月1日

## 「がん」に関する情報提供について 国立がん研究センターと包括的連携協定を締結

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)は、独立行政法人国立がん研究センター(理事長:嘉山 孝正、以下、国立がん研究センター)と、「がん」に関する情報提供について包括的連携協定を締結しました。

国立がん研究センターは、昭和37年(1962年)に「国立がんセンター」として設立され、世界最高水準の医療と研究、「がん」に関する情報の収集・分析・発信、全国のがん診療連携拠点病院への支援など、高度で広範な機能により、日本全体のがん医療の向上を牽引しています。

また、当社はこれまで、結核の予防を目的とした「保生会」の設立(昭和10年)と「結核予防会」への寄付・統合(昭和14年)、心臓病・心疾患の研究・治療を行う「財団法人心臓血管研究所」の設立(昭和34年)を行うとともに、広く保健衛生の向上を図る目的で「保健文化賞」を創設(昭和25年)し、厚生労働省その他の後援を得て毎年表彰するなどの取組みを行っています。また、継続的に生涯設計デザイナー(営業職員)による健康・医療に関する情報提供を推進するなど、健康・医療分野における情報発信や社会への貢献に努めています。

そこで、当社と国立がん研究センターは、「がん」に関する包括的連携協定により、国立がん研究センターのさまざまな機能から生まれる有益な情報と当社の情報提供機能などをもとに、

- ①「がん」をよく知るための一般的な知識・情報の提供
- ②「がん」の予防・検診・相談・治療など、「がん」に関する専門的な医療情報の提供
- ③全国のがん診療連携拠点病院の医療や生活に関する相談支援機能やセカンドオピニオンの紹介

など、一般の皆様役に役立つ情報から、「がん」に罹患された方とご家族に役立つ専門的で具体的な医療情報まで、多くの皆様に役立つ情報を提供してまいります。

具体的には、以下の取組みなどにより、生涯設計デザイナーやホームページなどのさまざまなチャネルを通じて、幅広く、わかりやすく、情報をお届けしてまいります。

- ①国立がん研究センターと共同で情報紙や生涯設計デザイナー携帯/パソコン用コンテンツなどの開発・提供
- ②国立がん研究センターの発行物やホームページの活用、当社ホームページなどの活用による情報提供
- ③国立がん研究センターの医師などによる動画・映像やセミナーでの情報提供

なお、当社はこれまでも、健康増進・予防・検診に関する情報や、適切に病気に立ち向かうために必要な情報・サービスの提供に努めており、現在以下の取組みを実施しています。

- ①専門医師による健康・医療情報などを掲載した情報紙の発行  
(情報紙の名称「生涯設計ジャーナル」…平成23年の年間発行枚数123万枚)
- ②生涯設計デザイナー携帯パソコンでの専門医師などの動画・映像による情報提供  
(社内名称「ナビセツ」…健康・医療の搭載コンテンツの種類12種類)
- ③医師や専門家、病気を体験された方などによるセミナーの開催  
(健康・医療・介護に関するセミナーの平成23年度の開催回数174回、参加者数約4万名)
- ④ご契約者向けの健康・医療に関する電話相談サービスなどの実施
- ⑤来店型店舗への乳がん触診モデル(模型)の設置

当社は「いちばん、人を考える会社になる。」というグループビジョンのもと、「新・生涯設計」—すべてのお客さまに、私たちすべてが、すべての接点で、「一生涯のパートナー」—のコンセプトに基づき、これからも“健康・医療・介護・暮らし”に関する情報提供を充実・強化してまいります。

以上